

学校長 式辞

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。帯広コア専門学校を代表して、心よりお祝いを申し上げます。

本日、ここに50名が卒業を迎えました。入学当初から新型コロナウイルスのパンデミックの中、感染拡大防止のために様々な”自粛”を強いる結果となってしまいました。学校祭やスポーツ大会、予餞会などの学内イベントも時間短縮、そして規模縮小しての実施となりました。また、地域のボランティアなど学外活動もほぼ実施出来ず、貴重な思い出となる機会を十分に提供出来なかつたことは大変申し訳なく思っています。

しかし、そんな中にあっても皆さんは、流石にデジタルネイティブな世代でオンライン授業への対応やイベントのオンライン開催など随所に工夫を凝らし、素晴らしい適応力を発揮していました。その姿には、頼もしさを感じました。

やっと日本国内でもアフターコロナへの兆しが見えて来た今日この頃ですが、未だに世界では、ロシアのウクライナ侵攻が続き、米中対立も心配です。更に地球規模でも温暖化をはじめとする環境問題、人口、食料、エネルギーなど国境を越えた課題も沢山あります。

そして、国内では、人口減少、少子高齢化をはじめ、様々な変化が静かに、そして確実に進んでおり、私たちの暮らしに大きく影響するものと思います。

それらの変化への対応も含めて科学技術の発達により、AIやロボットなどの社会実装が一層進むものと思われます。Apple社のiPhoneが国内発売されたのは、2008年7月。ほんの15年前のことです。その後、スマートフォンとネットワークは、私たちの生活をとても便利に変えてくれました。皆さんがこれから暮らす社会も、この先、10年、20年など少し長い時間で見ると、今とは大きく違っていると思います。

皆さんは、在学中にそれぞれの専門分野を学び、経験を積んで来ました。皆さんが学び、経験したことは、皆さん一人一人の中にあります。卒業後は、社会人として仕事の中で学び、経験を重ね、更に成長を続けてください。

いつも明るく、謙虚に、そして、感謝の心を持ち、沢山の仲間や支援を集められる人になってください。

皆さんが希望です。皆さん一人一人の個性とスキルを活かし、それぞれの立場でこれからの社会を夢見て、そして築いてくれると信じています。

最後になりますが、卒業生をこれまで励まし支えてくださったご家族の皆様、ご卒業、誠におめでとうございます。これからは、社会や人生について話す機会を多く持てると思います。是非にも楽しみにして頂きたいと思います。

そして、本日、ご多用の中、ご臨席を賜りました来賓の皆様には重ねてお礼を申し上げ、今後とも本校の教育活動に益々のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

卒業生の皆さん、帯コアは皆さんの母校です。卒業は、新たな関係の始まりです。それぞれの専門分野で活躍する皆さんと共にこれから起きる変化をしっかりと見つめ、ありがたい将来を描き、その実現に向けて一緒に行動する日を楽しみにしています。

本日は誠におめでとうございます。

2023年3月11日

帯広コア専門学校 校長 千葉 直樹